

節水編

上手に節水するコツは、その工夫を普段の生活の中で習慣づけること。

ちょっとした配慮も、続けることで使用量が大きく違ってきます。

そして一番気をつけたいのが、水の無駄使い。

ご家庭だけでなく、職場や学校、駅の洗面所などでも、水を大切に使うてください。



1 トイレの水量は控えめに使っています。

トイレの使用後は、できるだけ水量の弱い方で流すようにしています。

◎大阪市 林昌美さん



水洗トイレで水を流すと、便器メーカーや機種によって多少違いますが、従来タイプの場合、1回に12〜16ℓ程度流れます。最近では節水消音タイプが主流になってきており、水洗方法の改良などによって1回当たり8〜10ℓの便器も登場。ずいぶん排水量が少なくてすむようになってきました。ところで、水量を調節するため、水を入れたバットボトルなどをトイレタンクの中に入れるという話があるようですが、排水弁にひっかかったり、給水のボールタップから水が止まらないこ

2

洗濯は風呂の残り湯を徹底的に利用。

子供が生まれて毎日洗濯をするようになり、水道代が2倍にはね上がりました。

ちようど洗濯機の寿命も

近づいていたので、風呂の残り湯を使う洗濯機に買い替えました。

◎和泉市 長森ゆかりさん



ともあるようです。また、水量が不十分ですと、汚物が排水管の中で立ち往生して、排水管の本管までしっかり流れない場合があり、排水管詰まりの原因になることもあるので、ご注意ください。

風呂の残り湯を洗濯に利用すると、水道水より水温が高いため、洗浄力がアップします。その分、洗剤も節約できるので、生活排水の汚れも減らせます。

洗剤は多く使うほど洗浄効果があがるように思いますが、必要以上に使用してもあまり効果は変わらないようです。かえって、すぎの水を多く使うことになったり、すぎが不十分になったりします。また、石鹸かすも出やすくなります。洗剤の使用量を守れば、すぎもためすぎ2回で十分です。洗濯物の量や水温で、上手に加減してください。

3 水やりは、米のとき汁や残り湯で。

2階のベランダでハーブを育てています。水やりには、ペットボトルを利用。

米のとき汁や風呂の残り湯をペットボトルに入れて1階から

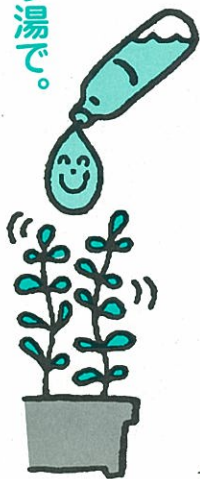
運んでいます。米のとき汁は

植木に良いと聞いていますし、

生活排水としての問題もあるので、

一石二鳥かなと実践しています。

◎箕面市 砂金智生さん



ペットボトルなら、口を閉めておけば、運ぶ途中で、米のとき汁や風呂の残り湯がこぼれることもなく便利ですね。

米のとき汁が排水として2ℓ出た場合、魚が快適にすめる水質(BOD 5 mg / ℓ)に戻すのに必要な水の量は、浴槽4杯分の1200ℓ。たった2ℓのとき汁に、600倍ものきれいな水が必要というわけです。毎日出る米のとき汁でハーブが元気に育てば、節水にも、生活排水対策にも、肥料としても使えることになり、無駄のない上手な水の使い回しができます。